

11 番	馬嶋 みゆき 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. 自転車安全利用の推進について</p> <p>【質問趣旨】</p> <p>自転車利用については、道路交通法の改正により2023年に全年齢のヘルメットの着用が努力義務化され、2024年には自転車運転の厳罰化がされた。また、2026年4月1日からは交通反則通告制度(青切符)が導入される。これら改正に至った背景には自転車の危険運転や重大事故の事例があると考えられる。本市は1992年に交通都市宣言を行い、また瀬戸市議会では2021年に「瀬戸市自転車の安全で適正な利用の促進及び自転車の活用推進に関する条例」を提案し制定していることから、市民の安全で安心な交通のため、本市の自転車の安全利用の取組等について伺う。</p>	<p>(1)ヘルメットの着用促進について</p>	<p>①愛知県警の統計によれば、令和2年から令和6年までの過去5年間で自転車乗用中の交通事故で亡くなられた方は115人。このうち63.5%が頭部を負傷しており、ヘルメット未着用の方の致死率は、着用していた方に比べて約1.7倍高くなっている。命を守るヘルメットの着用率向上のため、本市では各世代に対し、どのように普及啓発を行っているか伺う。</p> <p>②本市では令和3年度から「瀬戸市自転車乗車用ヘルメット着用促進補助金」制度を実施し普及に努めている。瀬戸市に居住する満7歳以上、満18歳以下の児童生徒及び満65歳以上の高齢者はヘルメット購入の支援が受けられるが、これまでの申請状況から、市民のヘルメット着用に対する意識等はどのように見受けられるか伺う。</p> <p>③「瀬戸市自転車乗車用ヘルメット着用促進補助金」制度は愛知県との協調事業であり、期間は令和7年度までとされている。本市においては令和3年度の開始から昨年度末までに1806名の方々にご利用をいただき着用促進に貢献している。これまでの実績や今後のヘルメット着用促進を考え、制度継続をしていく考えはあるか伺う。</p> <p>④現在の補助制度については年齢制限があり、19歳から64歳までが補助対象から外れているが何故か。併せて補助金は購入を迷う方などへのインセンティブの一つとなり、促進につながるのではと考えることから、利用者すべてを補助対象としてはどうかと考えるが見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

11 番	馬嶋 みゆき 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(2) 自転車利用者への教育と啓発	<p>①瀬戸市交通安全推進協議会の資料によれば令和6年中の瀬戸市内の人身事故は336件。うち自転車を運転していた方の死傷者数は63名。自転車対自動車の事故は自動車同士の事故に次ぐ多さである。本市には歩道のない道路や狭い道、踏切や大型車両の通行が多い地域もあり、交通ルールはもちろん、自転車運転指導や危険予測なども重要になると考えるが、小中学生の自転車の安全利用に関する教育は本市の小中学校においてどのように実施されているか伺う。</p> <p>②水南小学校では令和6年度から2年間、県の「交通安全教育推進事業」の研究推進校に指定され、警察等と連携し自転車のルールやマナー等に取り組んでいると聞くが、その内容と子供たちの安全に関する意識変化はどのようなか伺う。</p> <p>③社会生活を送るうえで、交通ルールを知ることが生涯にわたり必要なことと考える。年齢に応じて行われる学校での安全教育は子供たちにとって重要な機会であり、交通ルールや自転車の安全な乗り方、ヘルメット着用の重要性を繰り返し学ぶためにも、全小中学校において各学年、年1回以上の交通安全教育を定期化してはどうかと考えるが見解を伺う。</p> <p>④瀬戸市交通児童遊園(せとクルランド)では夏季を除き、毎月、6歳から小学生と保護者を対象とした「親子で学ぶ自転車乗り方教室」を開催している。ヘルメットの着用など自転車の安全利用にはご家庭での指導も大切となる。この事業が保護者の安全意識に対し、どのような変化に繋がっているか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

11 番	馬嶋 みゆき 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(3)一層の推進強化について	<p>⑤市内では高校生、成人の自転車利用者も多く見かける。通勤や通学、お買い物など、日常生活で欠かせない移動手段になっている方もいるが、一方で交通ルールを学ぶ機会は比較的少ないと考えられる。そのためか携帯電話使用の「ながら運転」、両耳イヤホンの使用など危険な運転が見受けられることもある。こうした方々に対し、自転車マナーの向上やルール周知のための啓発はどのように取り組まれているか伺う。</p> <p>①本市は1992年に交通安全都市宣言を行い「すべての市民が一丸となって交通安全の基本ルールとマナーを守り交通事故のない安全で快適なまちづくりをめざす」としている。今後、市民の安全で安心な交通のため自転車の安全利用について警察や企業、団体とも協力し一層の推進強化が必要と考えるが、どのような方針で取り組まれるのか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。